

平成28年度 第3回市民公開講座『震災より学ぶ地域包括ケアの実践』

「気仙沼支援 医療・福祉関係5団体」 & 気仙沼・南三陸「食べる」取り組み研究会 講演会

東日本大震災の体験に私たちはどのように学んできたか？



日時：平成29年3月17日(金) 18:30～20:00時 (18時開場)
場所：気仙沼市民健康管理センター「すこやか」多目的ホール

司会進行： 金澤 洋 氏 (気仙沼歯科医師会在宅歯科医療連携室長・「食べる取り組み」研究会)
飯田 良平 氏 (鶴見大学歯学部高齢者歯科学講座・5団体)
ご挨拶： 齊藤 稔哲 氏 (気仙沼市立本吉病院長)

講師： 古屋 聡 氏 (山梨市立牧丘病院長)

2011年の東日本大震災の厳しい体験は、私たち保健医療福祉の関係者にも大きな教訓を残しました。

- ・災害直後からの慢性疾患への配慮
- ・要配慮者（高齢者や障害のある方など）の避難所における取り扱いについて
- ・早期からの口腔ケアや食支援の重要性
- ・時期を問わず多職種連携について
- ・仮設住宅における健康障害への対策について
- ・要配慮者の防災対策について

これらの教訓はその後の日本各地においてどのように生かされているのでしょうか？ きちんと学べてきたのでしょうか？

2011年の体験をあらためて振り返り、その後の気仙沼、および日本全国の状況を考え直してみたいと思います。

・・・受講料無料・・・

◆問合せ・申し込み先 気仙沼市保健福祉部健康増進課 栃木 電話 0226-21-1212 専門職の方で参加を希望される方は、来る3月16日（木）までにお申し込み下さい。
飯田先生経由でも申し込み可能です・
一般の市民の方へは新聞告知にてご案内申し上げます。

主催 : 「気仙沼支援 医療・福祉関係5団体」 「気仙沼 南三陸「食べる取り組み」研究会」

共催 : 気仙沼市 気仙沼市医師会 気仙沼地区地域医療委員会 気仙沼歯科医師会 気仙沼市社会福祉協議会 気仙沼介護サービス法人連絡協議会

【講師略歴】

1962年山梨県生まれ

1987年自治医大卒業

現在 整形外科を基盤とするプライマリケア医師で在宅医療を多く手がける。医師4人30床在宅250ケースの病院の院長。

2011年3月16日にはじめて気仙沼入り、以後現在まで月1-2回のペースで気仙沼におとずれて本吉病院での外来診療、仮設住宅・復興住宅での個別健康相談、気仙沼・南三陸地域での口腔ケア・食支援活動へのお手伝いを継続し、現在に至る。